社協だより
いずも

つながる ひろがる ささえあう
社会福祉法人
出雲市社会福祉協議会

7月·8月号 vol.111
平成29年8月18日発行

わがまちのことを、わがこととして考え、
支え合いの輪を広げよう

見守り・声掛け

交流・予防

支え合い

地域支え合いフォーラム

地域で支え合いの輪を広げるためのフォーラムを開催します。

日　時 9月29日(金) 13：00～16：00

内　容 基調講演(さわやか福祉財団による)
「みんなでつくる地域の支え合い」

市内の「支え合い活動」の事例発表もあります

会　場 朱鷺会館

参加費 無　料

定　員 300人(※定員になり次第締め切ります。)

申込方法 9月15日(金)までに氏名、電話番号をご記入のうえ申込先へメールまたはFAXで申し込みください。

申込先 地域福祉課
☎ 23−3781　FAX 20−7733
Eメール fukushi@izumoshakyo.jp
※メールでの申込の際は件名にフォーラム名を明記してください。

講師プロフィール

公益財団法人
さわやか福祉財団　理事長
清水(しみず)　肇子(けいこ) さん

さわやか福祉推進センター（現公益財団法人さわやか福祉財団）の創立時から参加。2014年から同財団の理事長に就任。地域における生活支援サービスのコーディネート機能の構築に関する調査研究事業委員（厚生労働省）、経済財政諮問会議政策コメンテーター（内閣府）なども務める。

こうした支え合い活動を整えるための「出雲市生活支援体制整備事業業務」に取り組んでいます。

理事・監事・評議員のご紹介

社会福祉法の改正により定款を全面的に変更し、理事、監事、評議員の選任方法や定数、任期、役割などが従来から変わりました。このたび評議員は新たに三人が選任され、理事・監事は全員が再任されました。

理事（15人）

〈会長〉渡部 英二
〈副会長〉渡部 幸義
〈副会長〉齋藤 茂子
〈常務理事〉川瀬 英
阿食かをる　飯塚 眞治　岡 賢治
鎌田 篤子　柳楽紀美子　柳楽 好美
常陸 実　日野 和子　馬庭 隆
森山アサ子　吉田 明弘

監事（3人）

井上 明夫　白枝 淳一　森脇 慶昌

評議員（20人）

安食 和彦　飯塚 晃　石田 智士
石飛 啓二（新）　石飛 正登　和泉 積
江角 英子（新）　岡並るみ子　黒目 潤子（新）
曽田 正一　高田 茂明　竹下 茂
田部 延幸　玉田 珠美　西 郁郎
原 正　堀川 博　松浦 絹子
山口 史子　米原ゆきみ

任期は次のとおりです。

理事・監事
平成29年6月23日
～平成30年度会計に関する定時評議員会の終結の時

評議員
平成29年4月1日
～平成32年度会計に関する定時評議員会の終結の時

平成28年度 事業報告

主な事業を紹介

皆さまのご理解とご協力のもと99人の職員がさまざまな業務にあたり、地域福祉の推進に努めました。

事業は「安心づくり（個別支援）」「地域づくり（地域支援）」「人づくり（人材育成）」を柱として取り組みました。

力を入れている相談援助の取組は1年間で**16,610件**（1日平均68件）を越えました。

安心づくり

さまざまな福祉課題を抱える人への支援に取り組みました。多くの問題や複雑な課題を抱える人からの相談が多くなっており、複数の部署や関係機関との連携が求められました。

地域づくり

安心づくりを進めるために地域住民の理解と協力を得ながら、地域における支え合いの体制づくりに取り組みました。また、社会福祉法人の連携と協働による地域における公益的な取組の具体化を進めました。

人づくり

地域で福祉活動に参加する人を増やし、活動を活発にするためにボランティアの育成や研修に取り組みました。また、「生きづらさ」を抱える人の存在に気づき、理解と支え合いを広げるために学校や企業などで福祉教育の取組を推進しました。

安心づくり

一人ひとりの福祉課題を解決するための支援に取り組みました

高齢者あんしん支援センターの取組

65歳以上の方（高齢者）が地域で自立した生活を継続できるよう支援を行いました。

- 相談対応　8，478件
- 成年後見・虐待・困難事例などの対応　143件
- 二次予防対象者（介護が必要となるおそれのある方）の介護マネジメント件数　477件
- 介護予防普及啓発　68回
- 介護予防自主グループの支援　17回
- 要支援状態の方の介護保険サービスの計画作成　19，801件
- 出雲式認知症ケアパスを利用した認知症の理解を深める学習会（ワークショップ等）

生活支援・相談センターの取組

生活や経済的な困りごとを抱える方への相談に応じ、一人ひとりの状況に合わせて解決策を考え支援を行いました。

- 自立相談支援事業　新規相談件数　170件
  緊急一時的支援件数　109件
- 就労準備支援事業
- 地域生活相談事業　一般相談件数　304件
  法律相談件数　165件
- 生活福祉資金の貸付　46件
- 民生融金の貸付　55件
- 家計見直しサポート事業　申込　16件

こんな相談に対応しました。

失業し、求職中のAさんは、なかなか仕事が決まらず、手持ち金や食料がわずかになりました。困ったAさんの話を聞いた民生委員を通じて、本会に相談がありました。

緊急的な支援として食料支援を行い、お困りの状況、仕事のことや家計について詳しく話を聞きました。本人の「早く就労し、収入を得たい」との思いを受け、ハローワークと連携した就労支援をはじめ各種制度、生活福祉資金の借り入れを活用しながら、一つ一つの課題がクリアできるように支援を行いました。

その後、仕事が決まり、今では安定した収入を得られるようになりました。

いずも権利擁護センターの取組

認知症や知的障がい、精神障がいのある方などで権利侵害を受けやすい方への支援を行いました。

- 日常生活自立支援事業　利用者　124人
  相談対応　5，778件
- 法人後見事業　利用者　7人
  相談対応　784件
- 障がい者入居債務保証事業　利用者　9人
  相談対応　39件
- 財産保全サービス事業　利用者　3人
- 市民後見推進事業
- 成年後見意識啓発セミナー

こんな相談に対応しました。

妻を亡くしたBさん（一人暮らし高齢者）は、軽度の認知症があり、生活の乱れや借金、家賃滞納等が続くようになりました。高齢者あんしん支援センターより連絡を受け、本人、親族、福祉関係者を交えて生活の改善と計画的な金銭管理について話し合いました。生活面ではホームヘルパーを利用することで食事と生活環境が改善しました。また、本会職員と一緒に支出を見直し、日常生活自立支援事業を利用して金銭管理をすることで借金や滞納がなくなり、精神的にも安定した生活を送れるようになりました。

地域づくり

地域での支えあいの取組を広げました

福祉のまちづくりを進めるための計画の推進

●第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画事業
計画推進委員会の開催　2回

住民の主体的な福祉活動の推進

●地区社会福祉協議会等活動総合支援事業
41地区社協に1,649万4,329円を助成
●地区社会福祉協議会連絡会　16回
●子育てサロン研修会　参加者　27人
●ふれあいサロン活動助成金交付事業
サロン数　385か所
助成金額　2,398万8,950円
●ふれあいサロン研修会
開催　4回
参加者　延べ195人
●地域ふれあい見守りネットワーク事業
[多伎・湖陵・斐川]
世帯数　延べ703世帯
●福祉団体活動助成事業
43団体に999万6,000円を助成

四絡地区社協　なつやすみ学習会

四絡地区社会福祉協議会が夏休み期間の5日間、四絡コミュニティセンターを会場に開催。四絡小学校へ呼びかけ、1年生から6年生までの児童28人が参加しました。学習サポートは、島根県立大学出雲キャンパスの学生9名が担当。見守りや声かけをし、学習のヒントを伝えていました。児童たちは、楽しく熱心に学習に取組みました。

【参加した児童の声】
みんなで勉強したので楽しかったです。静かな場所だったので、いつもより勉強がよくできました。分からないところを教えてもらったので、良かったです。

【学習サポーターの声】
教えることは難しかったですが、良い経験になりました。

増やそう「読みメン」ブックランド古志

「読みメン」（子どもに絵本を読む男性）の普及に取り組んでいます。「読みメン」の名付け親、提唱者でもある島根県立大学短期大学部の岩田英作教授の、お勧めの絵本を12冊購入しました。また、岩田教授を講師に、「読みメン」は育メンの第一歩とし、読み聞かせの大切さやポイントについて講義いただき、お父さんやお祖父さん、学校長等も読み聞かせに参加されました。

【参加者の声】
子どもたちと楽しい時間が過ごせました。読み聞かせを通して子どもの成長に気づき、自分自身も心安らぐ時間となりました。

市民、福祉団体、福祉施設などの参加による福祉のまちづくりの推進

●認知症高齢者等SOSメール安心ネットワーク事業
メール受信登録件数　1，049件
メール配信件数　8件（行方不明者情報6件）
事前登録者数　37人
●たすけあいボランティア事業
利用会員　91人
協力会員　50人
利用件数　1，150件（2，139時間）
●共同募金歳末助け合い事業
●社会福祉法人による地域貢献活動推進事業
「地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会」設立に向けた協議
「斐川地域社会福祉法人連絡会」での連絡調整

福祉サービスの提供

●車イスの貸出事業　貸出件数　428件
●ガイドヘルプ事業　利用件数　1，281件

たすけあいボランティア事業

日常生活にちょっとした困りごとを抱えている方の「誰かにお願いしたいが頼む人がいない」「お礼にも気を遣う」といった思いを解消する地域住民による助けあい活動です。会員登録制の有償活動で、気兼ねなく利用していただきました。

【協力会員の声】
主に掃除、洗濯、買物、古紙の整理などのお手伝いをしています。また利用会員の方の体調を見ながら話し相手になったり、水分補給を促したりしています。

【利用会員の声】
体が思うように動かなくなり、たすけあいボランティアさんをお願いしています。定期的に来ていただくことで気持ちよく生活しています。また顔を見てお話をすることで不安がなくなりました。遠方の子どもたちも安心しています。

人づくり

地域福祉推進のために必要な人材の養成や自主的な福祉活動などの支援を行いました

ボランティア・まちづくりセンター運営

●ボランティア・まちづくりセンター運営
相談件数　749件
ボランティア団体登録者
166団体・3，545人
ボランティア個人登録者　146人

技術ボランティアの養成

●手話奉仕員養成講座（入門編）参加者　13人
●手話奉仕員フォローアップ研修会
参加者　延べ71人
●要約筆記奉仕員フォローアップ研修会
参加者　延べ41人
●点訳奉仕員養成講座　修了者　6人
●広報音訳ボランティア養成講座　修了者　3人

ボランティア活動に参加する人とネットワークの拡大

●デジタルサポート・ワークショップ　参加者　8人
●聴き上手ボランティア講座　参加者　45人

●視覚障がい者の災害時支援を考える研修会　参加者　15人
●読みきかせ研修会　参加者　14人
●ボランティア交流会　参加者　78人
●社会福祉施設ボランティア推進研修会　参加者　17人

災害時のボランティア活動の支援

●災害ボランティアセンターの設置運営に関する訓練

福祉への理解を深める

●サマーボランティアスクール
［佐田・多伎・湖陵・斐川］
参加者　中学生　25人
●福祉学習支援
実施回数　80回
参加者　3,698人
●あいサポート運動推進事業
実施回数　35回
参加者　975人

出雲商業高校　福祉教育

出雲商業高校の「生活と福祉」を選択する3年生を対象に、盲導犬学習を実施。視覚障がい者で盲導犬ユーザーの川上功さんが講師となり、当事者としての話や、アイマスクを着けてのコイン当てゲームをしました。また、一緒に野球を行い、障がいがあってもやり方や工夫をすることで共に楽しめることを学びました。そして生徒が視覚障がい者の立場になって作製した「校内の立体マップ」を川上さんにプレゼントし、相手の気持ちになって考える経験となりました。

【生徒の声】
障がいは特別なものではないことがよく分かりました。障がいについて正しく理解することや、相手の気持ちを第一に考えることの大切さを改めて感じました。

広報活動の推進

福祉への理解と関心を高める啓発活動を行いました

●出雲市総合社会福祉大会　参加者700人
●「社協だよりいずも」の発行　6回
●音訳広報発行事業
利用者数　1,344人
●点訳広報発行事業
利用者数　44人
●ホームページの運営管理
●出雲市民余芸大会

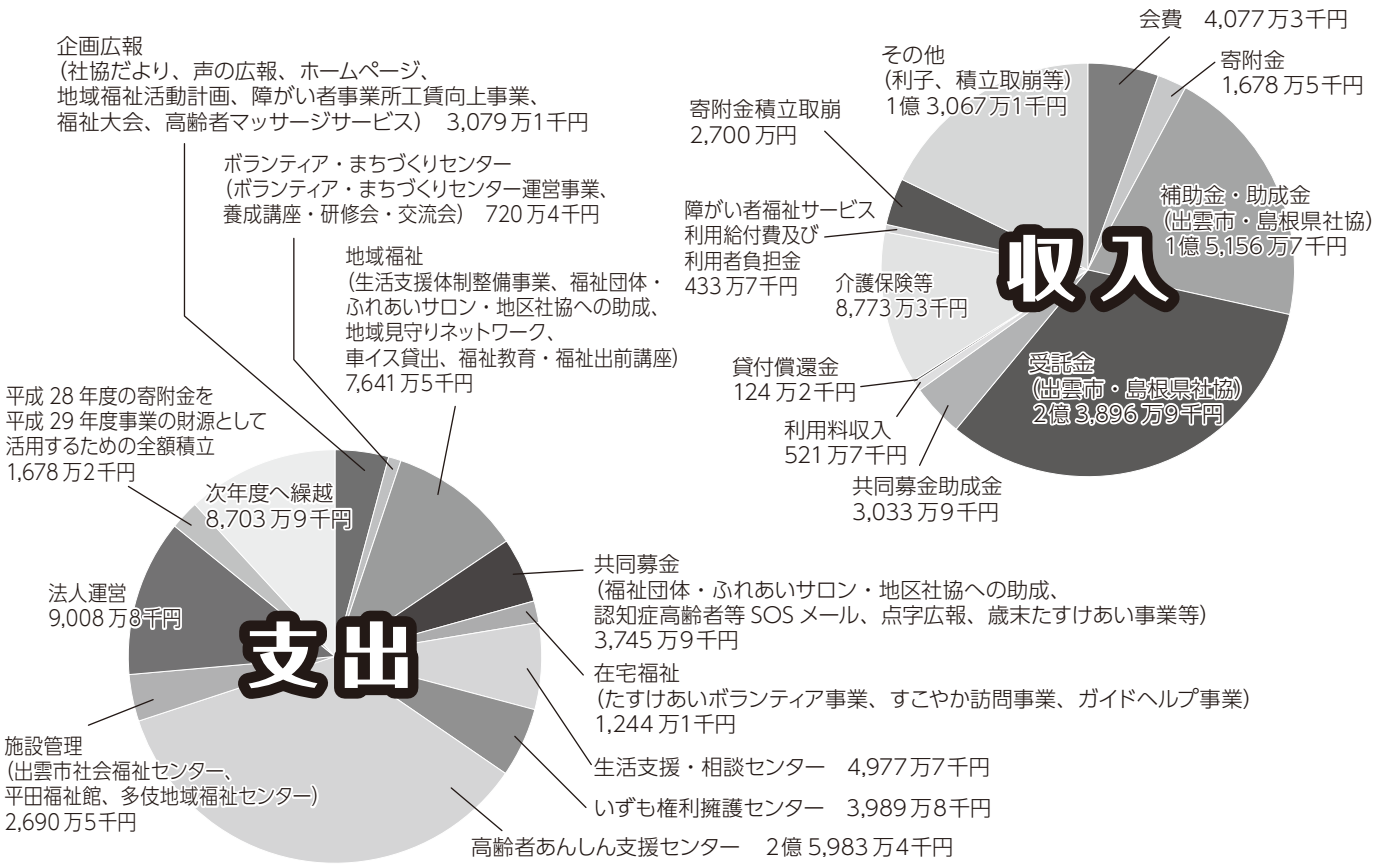
法人事務事業

●法人運営事業
役員会等の開催、定款・諸規程の整備、役職員の研修
●会館管理事業
出雲市社会福祉センター
利用者数　17,162人
多伎地域福祉センター
利用者数　14,496人
平田福祉館
利用者数　1,921人

平成28年度 決算報告

決算額　7億3,463万3千円

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）



貸借対照表（単位：千円）

借方

科目名	金額
資産の部	
流動資産	111,772
現金預金	90,945
事業未収金	17,240
未収金	18
未収補助金	2,429
前払金	4
前払費用	350
預け金	786
固定資産	976,046
基本財産	84,531
定期預金	9,000
建物	75,531
その他固定資産	891,515
土地	11,294
建物	64,328
車両運搬具	1
器具及び備品	5,185
ソフトウェア	1,867
貸付事業資金貸付金	959
長期預け金	114,186
退職給付引当資産	85,518
福祉事業積立資産	449,217
センター建設積立資産	200,000
権利擁護積立資産	150,000
助成積立資産	99,217
寄附金積立資産	62,580
修繕積立資産	87,352
たすけあいボラ積立資産	1,528
人件費積立資産（ガイド）	1,000
運営資金積立資産（包括）	6,500
資産の部合計	**1,087,818**

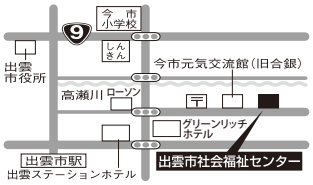
貸方

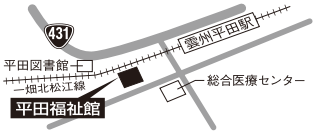
科目名	金額
負債の部	
流動負債	24,733
事業未払金	8,695
その他の未払金	788
未払費用	8,961
預り金	5,310
職員預り金	848
前受金	15
前受収益	116
固定負債	218,381
退職給付引当金	218,381
負債の部合計	243,114
純資産の部	
基本金	9,000
国庫補助金等特別積立金	76,665
福祉事業積立金	449,217
センター建設積立金	200,000
権利擁護積立金	150,000
助成積立金	99,217
寄附金積立金	62,580
修繕積立金	87,352
たすけあいボラ積立金	1,528
人件費積立金（ガイド）	1,000
運営資金積立金（包括）	6,500
次期繰越活動増減差額	150,862
うち当期活動増減差額	△ 28,746
純資産の部合計	844,704
負債及び純資産の部合計	**1,087,818**

心配ごと、悩みごと 相談日

◎一般相談では、家庭や日常生活での困りごと、悩みごとなどに相談員が応じます。
◎法律相談では、法律的な問題について弁護士が助言します。事前に一般相談などで相談が必要です。
◎相談内容について秘密は固く守ります。

会　場	一般相談（無料）	法律相談（無料、予約制）	会場・電話
出　雲	毎週　月・水・金 13：00～16：00 祝日の場合は休み	毎月　第1、2、4木曜日 13：30～15：30	出雲市 社会福祉センター ☎23−3790
平　田	8月23日 9月13日、9月27日 10月11日、10月25日 13：00～16：00	9月21日 10月19日 10：00～12：00	平田福祉館 ☎63−4624
斐　川	9月5日 10月3日 13：00～16：00	8月28日 9月25日 10月23日 10：00～12：00	出雲市 社会福祉協議会 斐川支所 ☎73−9330





仕事のこと、生活のことなどの困りごとについて、ともに考え、支援します。まずはご相談ください。
生活支援・相談センター　TEL 23−3790

いずも権利擁護センター・高齢者あんしん支援センター・各支所でも、随時職員が相談に応じています。
（連絡先は 10 ページに掲載）

災害で被災された方への支援について

名　　称	募集期間
東日本大震災義援金（これまでの送金額 48,586,507円）	平成30年3月31日まで
熊本地震災害義援金（これまでの送金額 3,417,643円）	平成30年3月31日まで
平成29年7月5日からの大雨災害義援金（これまでの送金額 10,000円）	平成29年8月31日まで
新潟県糸魚川市大規模火災義援金（これまでの送金額 1,346円）	募集期間終了

問合せ先／日本赤十字社島根県支部出雲市地区（事務局　出雲市社会福祉協議会 本所･各支所）

出雲市総合社会福祉大会

申込不要

●**日時**　9月14日（木）
13：30～15：15

●**会場**　出雲市民会館　大ホール

●**内容**　オープニング　ふたば園利用者の皆さん
式典（長寿のお祝い、社会福祉功労者の表彰）
講演　出雲市長　長岡　秀人 氏

◎障がい者就労系事業所による商品販売もございます◎

駐車場に限りがございますので
公共交通機関のご利用をお願いいたします。

問合せ／企画課　☎ 23−3781　FAX 20−7733

「地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会」設立

7月28日(金)、出雲市内で社会福祉事業を実施している57の社会福祉法人のうち38法人により、「地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会」が設立されました。今後、社会福祉法人の緩やかな連携を基盤とし、それぞれの法人が強みを持ちより、地域において公益的な取組を進めていきます。市社協はこの連絡協議会の事務局として参加法人の連携を深めつつ、取組の具体化に向けて協議を進めていきたいと考えています。

ご寄附ありがとうございます

平成29年5月11日～平成29年7月10日受付分（敬称略）

＊出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

一般寄附

＜出雲＞
今市町北本町　佐藤　忠雄

＜平田＞
平田町　細木　シゲ子

見舞返し

＜平田＞
十六島町　小池　恭子

＜佐田＞
須　佐　安食　泰弘

＜多伎＞
口田儀　石飛　誠
小　田　山本　勇

香典・玉串料・お花料等返し

（　）内は故人

＜出雲＞
今市町　松本　誠一（良造）
今市町　佐藤　琴枝（武夫）
今市町　油谷　京子（阿式　洋子）
今市町　有藤　龍司（茂雄）
今市町　椎葉　道子（松尾　彰）
今市町　田中　芳樹（早苗）
今市町北本町　成相　健治（吉郎）
今市町北本町　安達　博（弘）
大津町　槇野　光夫（末子）
塩冶町　万代　信子（静子）
塩冶町　板倉　正幸（豊幸）
塩冶有原町　山本　一雄（竹子）
白枝町　打田　悦子（輝夫）
松寄下町　加藤　正己（重政）
松寄下町　久吉　幸夫（勇吉）
浜　町　井上　正敏（和美）
常松町　中島　清二（延子）
稲岡町　玉木　福一郎（三子）
西園町　栗原　良夫（マサ子）

＜平田＞
平田町　坂本　武（富美枝）
平田町　市居　貴（純二）
平田町　勝部　富雄（花子）
西平田町　山根　秀崇（祐平）
灘分町　大菅　直吉（フミコ）
灘分町　中村　俊和（節雄）
灘分町　高橋　賢治（友子）
灘分町　矢田　まり子（尚義）
島村町　湯浅　万里子（泰隆）
島村町　太田　重雄（トシ子）
美談町　出羽　千賀夫（友江）
美談町　阿式　師春（フミ子）
国富町　榎谷　康一（文子）
西郷町　近江　伸一郎（武彦）
本庄町　遠藤　篤志（敏兼）
河下町　荒木　務（富子）
猪目町　濱村　惠一（智喜）
東福町　松浦　保夫（友子）
東福町　藤畑　友子（明男）
東福町　坂根　範之（登）
多久町　安食　修治（美代子）
園　町　角　久士（一得）
鹿園寺町　吾郷　恒夫（榮）
小境町　梶谷　雄大（芳子）
十六島町　小池　真（恭子）
三津町　福田　公二（多美子）
三津町　佐藤　光雄（マツヨ）
小伊津町　満田　章二（茂則）
美野町　釜屋　正弘（ミチエ）
美野町　常松　雅洋（善信）

＜佐田＞
朝　原　板垣　忠雄（鶴代）
八幡原　土井豆　勝磨（澄江）

＜多伎＞
口田儀　岡本　真由美（秀昭）
口田儀　藤原　均（豊）
口田儀　石飛　正男（伊知子）
多　岐　塩野　日出子（輝雄）
多　岐　伊藤　陽介（令一）
久　村　持田　剛（九子）

＜湖陵＞
三　部　柳樂　浩二（由紀）
三　部　山本　毅（ハルミ）
二　部　片伊勢　辰夫（昭子）
差　海　大峠　博幸（ミツエ）
差　海　原　敬二（タキノ）

＜大社＞
遙　堪　杵築　幸代（山根　春野）
入　南　金築　修（禮子）
中荒木　吾郷　充永（敏子）
中荒木　中山　賢十郎（まさ江）
北荒木　高橋　正志（房義）
北荒木　川上　隆子（好之）
北荒木　黒崎　重佳（益男）
杵築東　北川　尚子（恒夫）
杵築南　坂本　一真（博一）
杵築南　小田川　裕一（幸子）
杵築南　吉岡　博隆（ヤエ子）
杵築南　落合　進（八重子）
杵築西　園山　隆一（賢三）
杵築北　加藤　有子（功）
杵築北　水師　君江（作太郎）
日御碕　天野　良治（秀三）

＜斐川＞
学　頭　昌子　浩己（好見）
神　庭　高橋　浩（昭）
上庄原　杉谷　利雄（善雄）
富　村　高橋　義則（茂子）
富　村　杉原　辰徳（孝子）
富　村　岡　忠男（晴）
上直江　金森　美智子（純一）
上直江　青木　光輝（春野）
直　江　釜田　浩（季子）
直　江　土江　正人（静子）
原　鹿　玉木　淳一（茂）
三分市　竹下　一好（武夫）
三分市　瀬崎　良司（秀雄）

匿名寄附

8件

ご寄贈

＜出雲＞
渡橋町　藤原　幸子
（シルバーカー　1台）

＜斐川＞
ひかわ寿昌クラブ荘和会
会　長　板倉　威
（新品タオル、手作り雑巾を保育園・幼稚園・高齢者施設へ寄贈）

皆さまからのご寄附は、一般相談や法律相談、市内で福祉活動を行う団体及び各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

●出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

●「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていないが」との問い合わせが時どきあります。各地区の社会福祉協議会とは地域福祉の推進においてのパートナーであり連携して事業を行っておりますが団体としては別であるため、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。

寄附受付窓口はこちら

出雲市社会福祉協議会

本　所	出雲市社会福祉センター内1階（今市町543）
佐田支所	出雲市役所佐田支所内1階（佐田町反辺1747-6）
湖陵支所	湖陵福祉センター内（湖陵町三部1352）
斐川支所	出雲市社会福祉協議会斐川支所（斐川町上庄原1766-2）
平田支所	平田福祉館内2階（平田町2112-1）
多伎支所	うなばら会館内（多伎町小田50）
大社支所	燦（さん）プラザたいしゃ内1階（大社町杵築南1397-2）

※電話番号は10ページに掲載しています。

ふれあいサロン研修会

●日　時　11月2日(木) 13：30～16：00
●会　場　ラピタウエディングパレス　鳳凰
●参加費　無料
●定　員　250名(先着順)
●内　容　・平田地区・乙立地区のふれあいサロン団体による活動報告
・参加者同士の意見交換

●申込方法
10月20日(金)までに
①氏名②電話番号
③所属するふれあいサロン名
をご連絡ください。

●問合せ・申込先
地域福祉課
☎：23-3781　Fax：20-7733
メール　fukushi@izumoshakyo.jp
※メールでの問合せ、申込みの際は、件名に研修名を明記してください。

企業×福祉

人材育成の一環として
福祉についての研修に取組む
あったか企業を紹介します。

島根トヨタ自動車株式会社出雲店

従業員20名があいサポート研修に参加。講師として、車の運転をする機会の多いろう者の方（耳の聞こえない方）が当事者の立場から、日頃困ること、皆さんにお願いしたいサポートを手話で話しました。（手話通訳あり）また、本会の職員からあいサポート運動の趣旨などを説明しました。研修を通し、障がいをまず知ることからはじめ、様々な障がいの特性や困りごとなどを理解して、ちょっとした手助けや配慮を実践すること、そして、誰もが暮らしやすい地域社会を皆さんと一緒に作っていくことを学びました。

障がいのある方への接し方について学び、まずは声掛けをし手助けができればと思います。サービス業としてお客様第一を改めて考える機会となりました。

企業×ボランティア

企業の強みを活かし、地域に貢献する企業ボランティアの取組みが全国的に広がっています。
出雲の“ふだんの くらしの しあわせ”をつくる地元企業を紹介します！

そば処　かねや

プロフィール　所在地：出雲市大社町　業務：飲食業

平成24年から島根県共同募金会の『募金百貨店プロジェクト』に県内第1号として参加しています。
『募金百貨店プロジェクト』とは、商品の売り上げの一部を赤い羽根共同募金に寄附する企画です。お客様には負担がなく、企業にとっては販売促進や社会貢献につながり、それが地域福祉や被災地支援の財源となる3者のWIN-WIN-WINの関係が構築されます。
かねやでは、割子そば1枚につき1円を寄附。島根県内の福祉の向上に貢献しています。

募金百貨店プロジェクト
赤い羽根共同募金

取組は微々たるものですが小さな積み重ねが大事になると思うので、店を続けている限りは続けていきたいです。私たちの協力していることが、今後も地域に役立ててもらえるとうれしいです。

問合せ／
企画課　☎23-3781　FAX20－7733
Eメール　fukushi@izumoshakyo.jp

出雲市社会福祉協議会連絡先

本　所／〒693-0001 出雲市今市町543　✉ fukushi@izumoshakyo.jp　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.izumoshakyo.jp/
本　所／☎23-3781 FAX20-7733　平田支所／☎63-4624 FAX63-5011　佐田支所／☎84-0131 FAX84-9034
多伎支所／☎86-2331 FAX86-2351　湖陵支所／☎43-2310 FAX43-2226　大社支所／☎53-3196 FAX53-6053
斐川支所／☎73-9330 FAX72-4068
いずも権利擁護センター ☎25-0955 FAX20-7733　生活支援・相談センター ☎23-3790 FAX20-7733
高齢者あんしん支援センター
出　雲／☎25-0707 FAX25-0901　平　田／☎63-8200 FAX63-5011　佐　田／☎84-0019 FAX84-9034
多　伎／☎86-7122 FAX86-2351　湖　陵／☎43-7611 FAX43-2226　大　社／☎53-3232 FAX53-6053
斐　川／☎73-9125 FAX72-4068